



2025年3月9日(日)

「今井町、八木町を歩く」 報告書

江戸時代の姿を残す今井町、午後からは隣町の八木町を訪れた。

日時 2025年3月6日(木) 10時集合

集合場所 近鉄樫原線 八木西口駅 参加者人数 23名

行程 10時 八木西口駅→北尊坊門→旧米谷家→今井まちや館→今西家→称念寺→花薨→昼食

13時 JR 畷傍駅→下ツ道→岡本家→福島家(入館)→谷三山家→札ノ辻交流館(入館)

ミグランス 10階展望室にて 15時解散

2名のガイドさんのもと2班に分かれ2つの町、午前は「今井町」午後からは「八木町」を巡った

今井町の町並み いきなり江戸時代にタイムスリップしたような感覚になる。

今井町は、寺内町として平成5年12月18日に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された
蘩武橋を渡り樹齢推定420年といわれる大木(エノキ)の傍を通り今井町に入る。江戸時代の街並みがある
まま残る寺内町の歴史の重さを感じさせてくれる町である。防災への意識も高く「中町筋生活広場」では
80トンの耐震性防火水槽を埋設しているという。町を歩いていると飾り瓦の芸術的な美しさに目が行く



樹齢420年のエノキ



歴史ある街並み



埋設している防火水槽



西光寺(大屋根が美しい)



称念寺(飾り瓦)



棧のカーブがすごい



今西家にて

今西家住宅

今井町、最古の建物 重要文化財指定、内部は広い土間と六間取りの部屋、別棟の角座敷が付属している豪壮な建物。土間をお白州に見立てて簡単な裁きも行われていた。



(今西家お城のような外観)

(今西家内部)

12時過ぎ今井蘇武橋東屋にて昼食、雨が降ってきたが運よく 13:00 集合時には雨も止み八木町へ出発

八木町の町並み

JR 畷傍駅構内に入り説明を受ける。JR 万葉まほろば線 何とも響きの良い素敵な愛称である。

昭和天皇の檜原神宮行幸に際して建築され重厚な寺社風の木造駅舎、貴賓室は現在も残っている。

古代の下ツ道を歩いて八木町へ、今井町と同じく札ノ辻を中心に古い町並みが残っている。

非公開である福島家(木村さんの友人のご厚情に感謝)と札の辻交流館に分かれて入館。福島家は高取藩の下屋敷として参勤交代の起点となった家。落ち着いた風格のある重厚な雰囲気だった。

八木札の辻交流館、(東の平田家(旧旅籠)市指定文化財)は八木札の交差点に建っている。

交流館は江戸後期の建築、料理店や魚や時計屋と用途が変遷した。空き家となり寄贈を受けた市が2012年交流館としてオープンさせた。その後市役所展望室に移動 15時解散 木村さんありがとうございました。

今井町・八木町ともに風情あふれる光景がしっかりと詰まり町並みをたのしむことができた。



記録 藤井